

平成27年度実施事業調査シート

■ 基本事項(事業の位置づけ)

No. 12	項目名	在宅介護支援医療対応型ショートステイ事業費				主要な施策の 成果 ページ	33	担当 部署	健康福祉部 長寿いきがい課	
予算科目	会計	1	一般会計			総合計画 体系	分野	長寿・生きがい		
	款	3	民生費				基本方針	あんしんできる高齢期の生活への支援		
	項	1	社会福祉費				施策	地域ケアの推進と高齢者福祉サービスの適切な利用の促進		
	目	3	老人福祉費				当初予算における区分	新規施策・拡大施策・ 重点施策 ・その他		
事務事業	113	在宅介護支援費				↑ 該当するものを○で囲んでください				

■ 事業概要(実施内容)

事業の背景	(事業開始の背景は？実施に至った経緯は？) 在宅介護者を対象としたアンケート結果では、在宅介護の際に、「要介護者を残して外出できない」「緊急に介護を代わってくれる人や要介護者を預かってくれる場所がない」ことについて多くの方が困っておられたことから、在宅介護者の負担を軽減するための支援が必要である。
事業の対象	(事業の対象、範囲となる人や物は何なのか？) 市内に住所を有し、かつ、市内に居住しているおおむね65歳以上の要介護認定を受けている人で、介護者の急病等のやむを得ない事情のため、他に介護する者がいない場合で、医療依存度が高い人。
事業の目的	(この事業によって対象をどのような状態にしたいのか？) 家庭で医療依存度の高い要介護者を介護されている家族が、一時的に在宅で介護することが困難になる等の事態が緊急に発生した場合にショートステイ床の利用の支援を行うことにより、介護者の安心と負担軽減を図る。
事業の内容 (取り組み)	(どういった仕事の内容を、どのような手法・やり方で実施したのか？) 介護者が必要とする場合にショートステイが利用できるよう、市内の介護療養型医療施設においてショートステイ床として、2床を確保する。

■ 予算・決算状況

		当初予算の状況					決算の状況・実績				
内訳・詳細		○事業委託料 4,263千円 (ショートステイ床確保2床分)					○事業委託料 4,008千円 (ショートステイ床確保2床分) 延べ利用日数22日				
事業費(千円)	合計	国県	市債	その他	一般財源	合計	国県	市債	その他	一般財源	
	予算・決算額	4,263			4,263	4,008				4,008	
	前年度比	-				-					
◆「当初予算額」と「決算額」の増減理由(事業の進捗状況等)		年間分のショートステイ床確保に係る予算を計上したが、利用者が少なかったことから、ショートステイ床確保分の支出が多くなった。									
◆平成26年度事業費(千円)	合計	国県	市債	その他	一般財源	合計	国県	市債	その他	一般財源	
	0				0	0				0	

■ 事業所管部署による評価

	評価	項目	評価の理由・評価に関する説明
必要性	3	市民ニーズが高い	アンケート結果では市民ニーズが高く、必要な在宅介護支援策である。
	2	市の他の政策よりも優先的に実施すべきである	
	2	対象および内容が類似する事業がない	
妥当性	1	法令により実施することが義務付けられている	法令等に定めはないが、介護保険制度のショートステイ事業に対して、医療依存度の高い方を対象とする事業である。
	1	法令に定められた市の責務を具現化して実施する事業である	
	1	上位計画に明確に事業が位置づけられている	
	2	国・県・民間の類似サービスと重複していない	
	3	市民の基本的生活の維持・確保に必要な事業、または内部事務である	
効率性	3	他の手法に比べて効率のよい事業手法である	利用率は低いものの、緊急時に対応できることは市民の安心につながるものである。
	2	コスト削減の余地はない	
	1	受益者一人当たりのコストは適正である	
	3	受益者負担や補助の割合に問題はない	
継続性	3	事業を継続することで、さらなる効果が見込まれる	介護保険制度等の充実が図られる中で対応が可能となっており、検討が必要である。
	3	所期の目的を達成しておらず、引き続き実施する必要がある	
	3	社会状況の変化に対応した事業内容である	
成果	1	当該年度の事業目的を達成できた	利用者は少なかったものの、利用された方にとっては、成果が高い。
	4	受益者の評価が得られている	
	2	費用対効果大きい	

↑ 次の4段階により該当する数値を記入してください。

(4.よく当てはまる。 3.およそ当てはまる。 2.あまり当てはまらない。 1.ほとんど当てはまらない。)

■ 事業実施効果および課題、将来展望

事業実施効果	ショートステイの利用により、介護者の安心と負担の軽減を図ることができる。					
事業に対する市民の意見、反応	担当のケアマネジャーからの相談など、利用についての問い合わせをいただいたものの、医療依存度の高い方は必要性に応じて医療による入院をされるなどの選択をされることが多く、当該制度の利用には至らなかった。 既存の介護保険制度のショートステイにおいても、医療依存度の高い要介護者について症状によっては看護師のシフト変更により、医療処置が必要な時間帯に看護師を配置させるなど対応される場合がある。					
事業の今後の課題、将来展望	介護者へのアンケートやケアマネジャー等へのアンケートによると緊急時に対応可能な施設があることは安心できると回答いただいている。引き続き事業についての啓発を行い、事業の利用促進に努めるが、利用状況によっては、事業の継続について検討する必要がある。					
※平成28年度の予算措置	予算額(千円)	合計	国県	市債	その他	一般財源
		2,538				2,538
	27年度比	60%				
	積算根拠	事業委託料 2,538千円 ショートステイ床確保2床を1床に変更。				

※ 当該事業が平成27年度に終了した場合は、当該事業に代わって措置した予算や関連予算を記載してください。